



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 IMV株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫
(J A S D A Q ・ コード 7 7 6 0)
問合せ先
役職・氏名 取締役専務執行役員管理本部長 中村 雅彦
電話番号 0 6 - 6 4 7 8 - 2 5 6 5

メジャリングシステム製品の移管に関するお知らせ

当社は、東京工場で開発・製造をしておりましたメジャリングシステム製品の研究開発機能を R & D センターへ、製造機能を大阪工場へ移管いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 概 要

当社は地震監視装置、振動計測装置等のメジャリングシステム製品を東京工場（神奈川県津久井郡）にて開発・製造をしておりましたが、開発体制の強化及び生産の効率化を目的に、研究開発機能を R & D センター（大阪市西淀川区）へ、また製造機能を R & D センターと同一敷地内にある大阪工場へ移管いたしました。詳細は以下の通りであります。

移管機能：メジャリングシステム主要製品の研究開発機能及び製造機能（ピックアップセンサーを除く）

移管製品：地震監視装置、振動監視装置、振動計測装置、環境信頼性評価システム

移管完了日：2006 年 11 月 1 日

2. 移管の効果

振動シミュレーションシステムとメジャリングシステムの研究開発機能を R & D センターに一元化することによって、相乗効果を追求した新たな製品開発が可能な組織体制となります。また、地震計やイオンマイグレーションテスター等の既存メジャリングシステム製品における新製品開発においても、開発期間の短期化や開発コストの低減等の効果が期待されます。

製造機能の面では、購買機能の一元化による部品の一括発注や、検査人員の流動的な配置による繁閑の平準化等により効率的な生産活動が可能になります。

なお、製品移管により生じた東京工場の未活用地は、将来的に東京テストラボの拡大に充当する計画であります。

3. 業績への影響

本件による業績への影響は、平成 18 年 11 月 17 日に開示予定である平成 19 年 9 月期の業績予想及び中期事業計画に織り込み済みであります。その影響は軽微なものとなる見込であります。

以上